

## 【第4回（本日）の内容】

### ■ 外部評価（案）の取りまとめ

#### ポイント

- ☞ 委員からの意見を集約した内容で相違がないか
- ☞ 全体を通して、意見が妥当であるか



### ■ 流れ

- ☞ 各委員からいただいた評価を、事務局が「外部評価（案）」として整理しました。  
この案を「行政改革推進委員会の評価」として取りまとめてよいか、ご意見を伺います。  
分野1から分野6まで、**計25施策**を順に進めます。
- ☞ 分野7のマネジメントは、行政経営方針による内容となるため、「アクションプラン」を評価します。  
「議題（3）柏市第二次行政経営方針アクションプランの取組状況について」の説明後に、「外部評価」としてのご意見を伺います。

# 資料4-4「外部評価まとめ」の見方

平成30年11月28日 資料4-3  
柏市行政改革推進委員会

## 外部評価まとめ

分野1 こども未来

資料4-4

### 施策1 未来を担う生きる力を備えた子どもの育成

N o .	各委員からの意見・評価
1	いじめの認知件数に対する解消率および不登校の児童生徒数は、H28年よりH29年の方が指標の数値が悪化しています。進捗率は93%と高いにも拘らず指標が悪化している理由について、施策評価シートにおいて原因分析をすることが必要かと思えます。 ・図書館の利用時間が伸びていますが、結果として「読解力」の向上は達成されたのでしょうか。 ・施策の課題として「学力の二極分化」と「学校間の格差」が記載されていますが、現状の施策でこの課題は解消されている（もしくは解消の方向に向かう）のでしょうか。
2	いじめと不登校生徒数の数は正直驚きですが、きちんと数字で表に出しているのはすごく大事なことでと思います。しかし、増加傾向にあるのに、目標を数を減らすに設定するのは非現実的だし、違うように感じます。数ではなく、発見した際に、きちんと認知して、きちんと支援体制を整えることを目標にすべきだと思います。 それから、課題は多くの数字を用いる簡潔な表現ですが、成果は言葉による定性的な示し方が多く、数値も課題との評価軸が違う数値を用いられているため、評価しづらい。 例えば、下記の課題は結果的にどれくらい増減することになったか、把握しづらい 課題）学力テスト正答率は全国平均。成果）学力テストの正答率は○%上がった？下がった？ 課題）学習意欲は4年生から低下。成果）図書館利用率は増えたとありますが、図書館の利用と学習意欲の向上に直結するかわからない部分がありますので、やはり学習アンケートの結果は○だったと示したほうがよいと思います。 課題）中学校の4つの力をすべて基準を下回る。成果）4つの力をすべて○%上がった
3	図書館利用率が増加することが何の効果につながるのかわかりにくいです。
4	・4つの力の根拠は？また質問項目の優先性はどうか担保しているのか？ ・4つの力と学ぶ意欲・習慣との相関が見えない。・4つの力と思いやり・かかわりあうことの相関が見えない。 ・データ分析を大抵りなグループ単位で実施するのではなく、子ども一人一人をデータ化し、アダプティブな指導につなげられるようにしていくべき。 ・校区ごとのデバイドの加速はどのようになっているのか？また、それに合わせた施策をどう策定しているのか？ ・ネットリテラシー教育は親子でやる必要があると考えるが、そこはどうなっているのか？ ・「保護者を巻き込んだ食育」という施策は大変良い。

(以下、参考資料)

N o .	質疑 及び 指摘
1	・実数によるNo.5-②を除き、初年度に基準値を達成し、次年度も横ばいである。既存値の追認など、指標自体または基準値が不適当の可能性はある。 ※基準値は指標設定時の数値であり、目標値ではありません。基準値よりも目指す矢印の方向に成果が出ることを目指しています。
3	・不登校の児童生徒数が「病気等のやむを得ない理由に起因する不登校生徒の数」とあるが、「起因しない」の間違ひでは？また、基準値220人は5次総スタート時の数字か？

各委員からの意見・評価のうち「質疑や指摘」と判断したもの及び「回答」を記しています。意見等がある場合は、第4回行政改革推進委員会でお示しください。

### 外部評価（案）

○いじめの認知件数に対する解消率および不登校の児童生徒数は、H28年よりH29年の方が指標の数値が悪化している。進捗率は93%と高いにも拘らず指標が悪化している理由について、施策評価シートにおいて原因分析をすることが必要かと思えます。指標は非現実的か？

事務局が「外部評価（案）」として作成しました。  
「行政改革推進委員会の評価」としてよいか、ご意見を伺います。